

# 平成23年度決算

企画課企画財政係【☎028(677)6012】

平成23年度の一般会計と特別会計の決算が9月の議会で認定されました。  
 全会計の歳出総額が120億483万円となった平成23年度決算について、その概要についてお知らせします。詳細については、町ホームページに掲載していますのでご覧ください。

## 一般会計

### 決算の概要

一般会計の決算額は、歳入が89億3,194万円の前年度と比べて3億576万円(3.5%)の増、歳出は80億9,025万円で、3億7,176万円(4.8%)の増となりました。  
 歳入と歳出の差引額は、8億4,169万円で、このうち3億3,987万円は平成24年度に繰り越した事業に充当するため、実質収支は5億182万円の黒字となりました。

### 歳入

歳入でその占める割合が最も高いのは、町税41億5,324万円で、全体の46.5%を占めており、前年度と比べ5億1,509万円(11.0%)の減となりました。これは、固定資産税が3億7,908万円(11.9%)の減となったためです。  
 また、10年ぶりに交付団体になったことで、普通交付税7,133万円、東日本大震災による特別交付税4億4,443万円などにより、地方交付税が6億1,105万円で、5億8,650万円(2,389.1%)の増となりました。  
 町税や繰入金、繰越金、使用料など町が自主的に集めることができる自主財源は、61億1,954万円となり、その割合は68.5%になりました。

### 歳出

歳出を目的別にみると、民生費が最も多く20億5,503万円(25.4%)、次いで総務費19億8,736万円(24.5%)、教育費8億1,919万円(10.1%)、土木費7億3,545万円(9.1%)の順となっています。

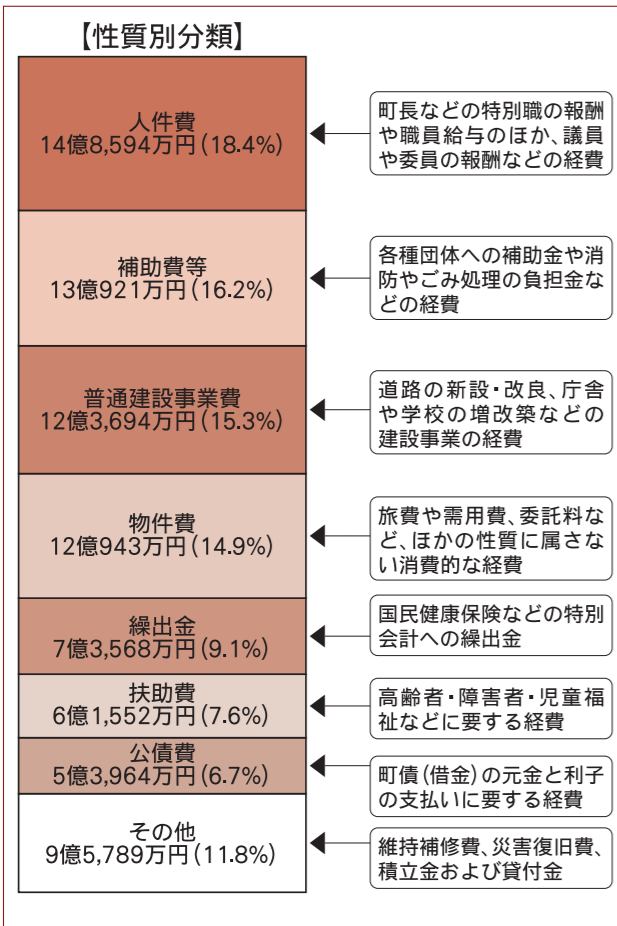
前年度と比べて支出が大きく増えた項目は、民生費で、特別養護老人ホーム建設のための補助金や東日本大震災による災害救助費などにより4億5,951万円(28.8%)の増となっています。

なお、土木費が1億8,058万円(19.7%)の減となっていますが、道路橋梁費や祖母井南部土地区画整理の事業費が減となり繰入金が減となったためです。

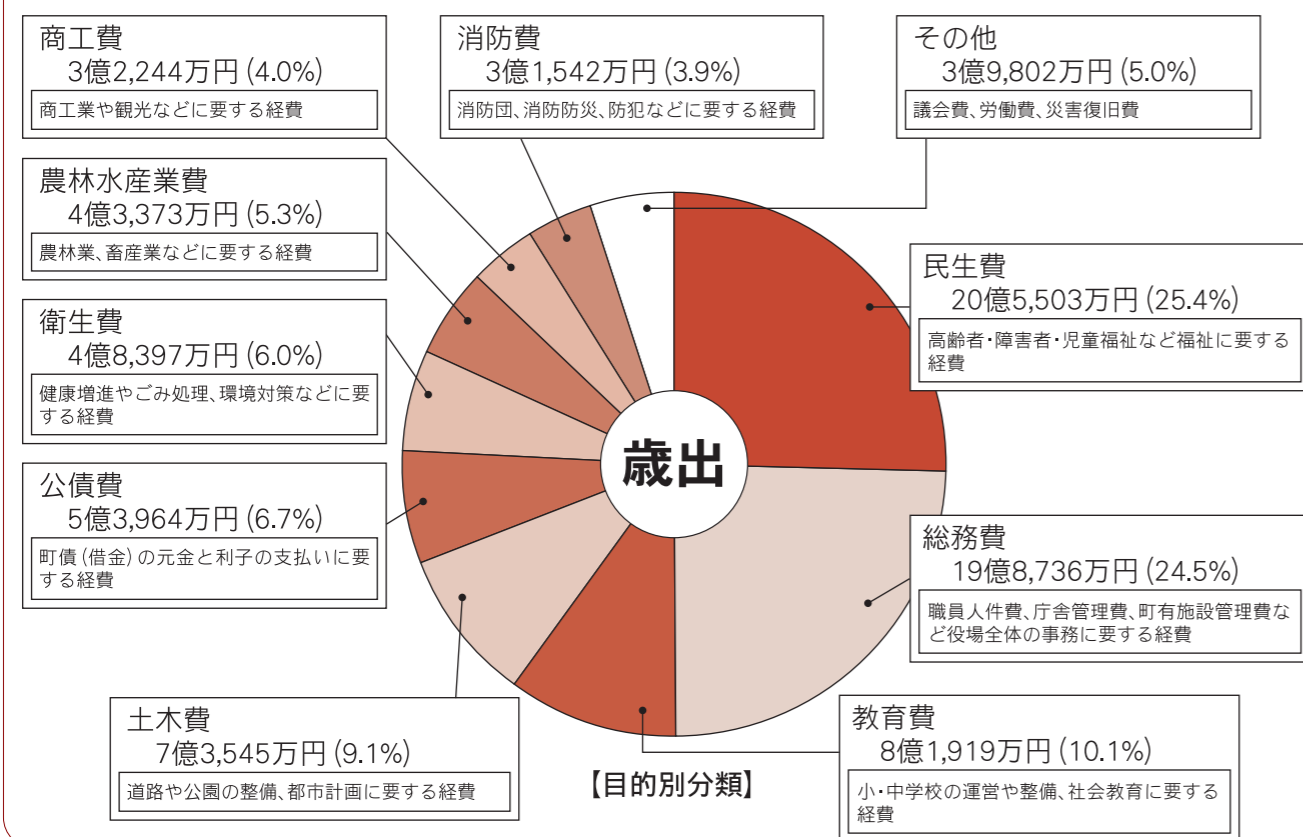
次に歳出を性質別にみると、最も多いのは人件費で14億8,594万円(18.4%)、次いで補助費等13億921万円(16.2%)、普通建設事業費12億3,694万円(15.3%)の順となっています。

前年度との比較では、積立金が5億7,183万円(9,184.6%)の増、物件費が1億9,869万円(19.7%)の増、災害復旧費が1億8,352万円(2,043.5%)の増となりました。

また、普通建設事業費が4億4,815万円(26.6%)の減、特別会計などへの繰出金が1億4,733万円(16.7%)の減、人件費が5,364万円(3.5%)の減となっています。



## 歳出 80億9,025万円



## 歳入 89億3,194万円

